

ハイパーテーション

取付説明書 — イペセレクト —

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 正しく施工、組付けをしていただくために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。

フェンスは隣地境界を目的に設置するものです。防護柵や手すり等としては使用しないでください。

■施工上のご注意

- 商品の施工については必ず取付説明書にしたがってください。また、施工完了後に取付説明書を施主様にお渡しください。

■使用上のご注意

製品の破損などによる身体の損傷等のおそれがありますので、以下の使い方を守ってください。

- フェンスを揺すったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。
- フェンスに雨具・洗濯物・布団等を載せないでください。

■梱包明細書

① 主柱セット(ベース仕様)

名 称	員 数
主柱(L=2296)	1
取付説明書	1

② 主柱セット(埋込仕様)

名 称	員 数
主柱(L=2700)	1
取付説明書	1

③ コーナー柱セット(埋込仕様)

名 称	員 数
コーナー柱(L=2715)	1
コーナー柱化粧材(L=2265)	1
柱化粧材取付ネジ φ4×35サラピラス	3
取付説明書	1

④ ロング主柱セット(埋込仕様)

名 称	員 数
ロング主柱(L=3200)	1
取付説明書	1

⑤ ロングコーナー柱セット(埋込仕様)

名 称	員 数
ロングコーナー柱(L=3215)	1
ロングコーナー柱化粧材(L=2765)	1
柱化粧材取付ネジ φ4×35サラピラス	3
取付説明書	1

⑥ 桁セット1

名 称	員 数
桁1(1スパン用)(L=1110)	1

⑦ 桁セット2

名 称	員 数
桁2(2スパン用)(L=2310)	1

⑧ 桁セット3

名 称	員 数
桁3(3スパン用)(L=3510)	1

⑨ 桁連結金具セット

名 称	員 数	
	柱用	桁用
桁連結金具1(柱用)	1	—
桁連結金具2(桁用)	—	1
金具組付ネジ φ4×20ナベ特殊	4	4
桁組付ネジ φ4×20ナベ特殊	4	4

⑩ 三角桁金具セット

名 称	員 数
三角コーナー桁部品1	1
三角コーナー桁部品2	1
三角コーナー桁部品1組付ネジ φ4×20ナベ特殊	4
三角コーナー桁部品2組付ネジ φ4×30ナベ2種	2
桁組付ネジ φ4×20ナベ特殊	4

⑪ パネルセット

名 称	員 数
パネル本体	1

⑫ パネル上下棧セット

名 称	員 数
上棧	1
下棧	1
上棧組付部品	2
下棧組付部品	2
部品組付ネジ1 φ4×30ナベピラス	3(1)
部品組付ネジ2 φ4×20ナベ1種	8
上棧組付ネジ φ4×20サラ1種	4
下棧組付ネジ φ5×30サラ3種	2

⑬ 主柱キャップAセット

名 称	員 数
主柱キャップ(樹脂製)	1
キャップ組付ネジ φ4×30サラ1種	2

⑭ 柱固定金具セット1(イペセレクト)

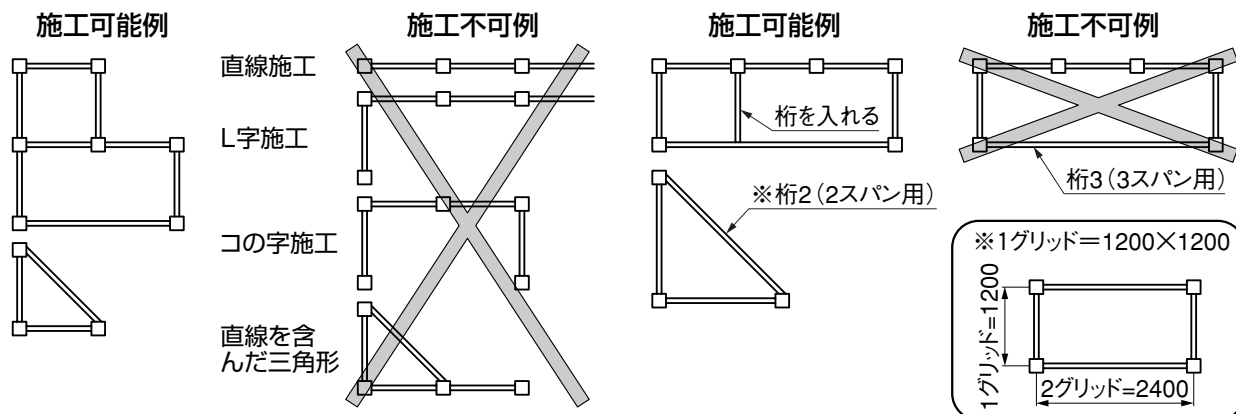
名 称	員 数
柱固定金具1	1
柱固定ネジ φ5×30ナベ1種	9(1)
金具固定ネジ φ8×25フランジ付六角1種	6

※()員数は予備数です。

1. 施工時の重要注意項目

※施工まえにご確認ください。

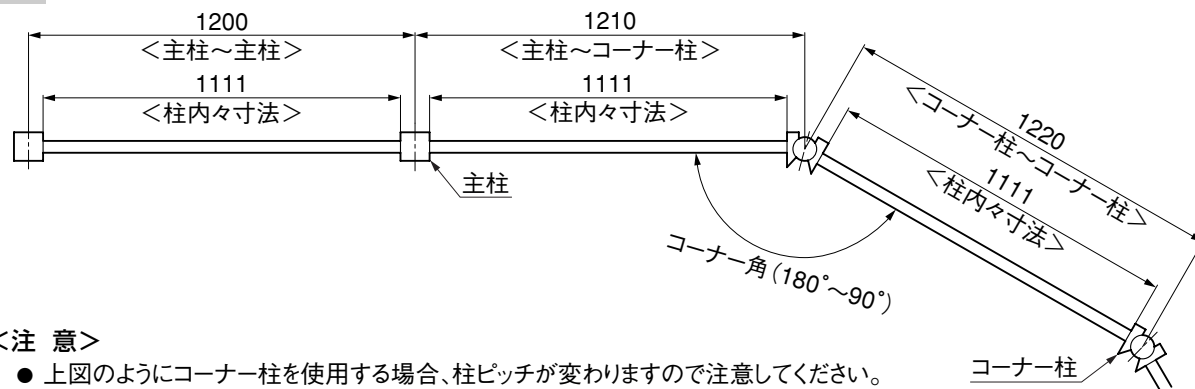
1-1 ベース仕様



<注意>

- 「直線」、「L字」、「コの字」の施工はしないでください。必ず、枠状に組むように施工してください。
- 枠の許容最大寸法(1グリッド×2グリッド)を守ってください。
- 「桁3(3スパン用)」の「桁」を使用する場合、必ず2スパンをこえない範囲で「桁」を入れてください。
- 三角形の斜辺は「桁2」を長さに合わせて現場でカットしてください。

1-2 埋込仕様



<注意>

- 上図のようにコーナー柱を使用する場合、柱ピッチが変わりますので注意してください。コーナー角の対応角は180°~90°です。

2. 基本寸法図および各部名称

2-1 ベース仕様

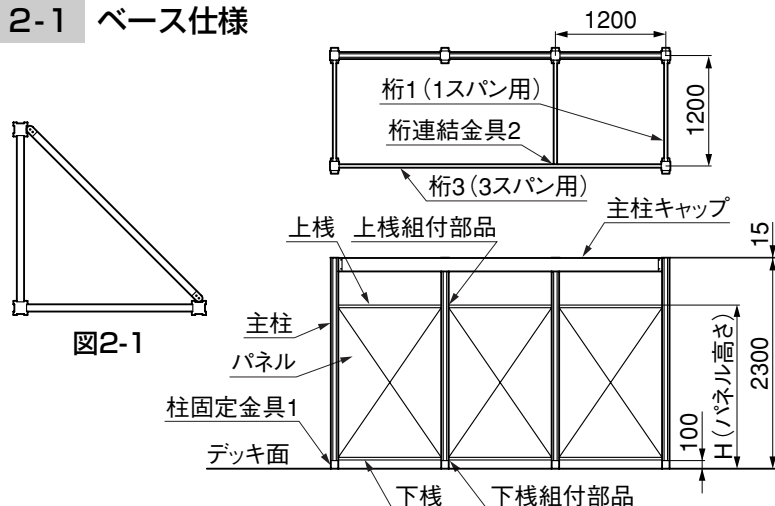


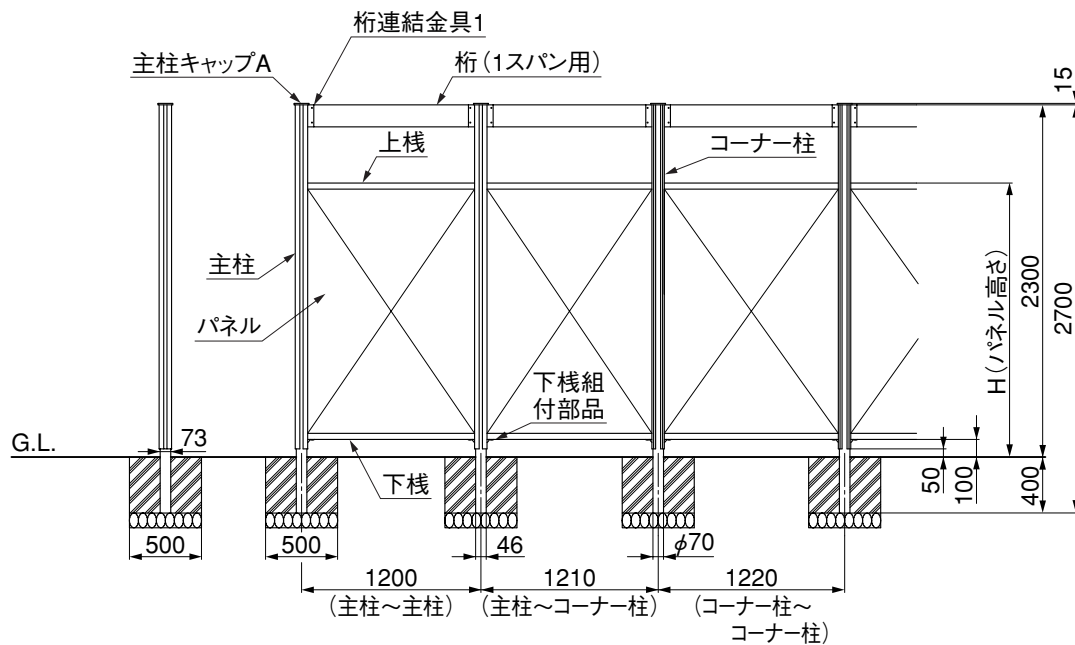
図2-1

パネルサイズ	H寸法
T-6パネル	600
T-8パネル	800
T-10パネル	1000
T-12パネル	1200
T-14パネル	1400
T-18パネル	1800

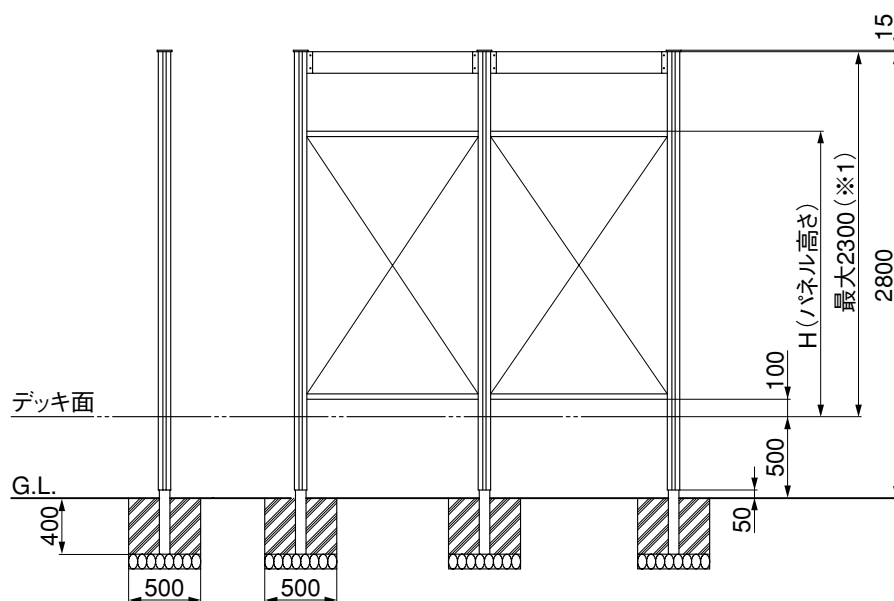
<注意>

- 三角桁金具を組付ける方向に注意してください。(図2-1参照)

2-2 埋込仕様



2-3 ロング柱仕様



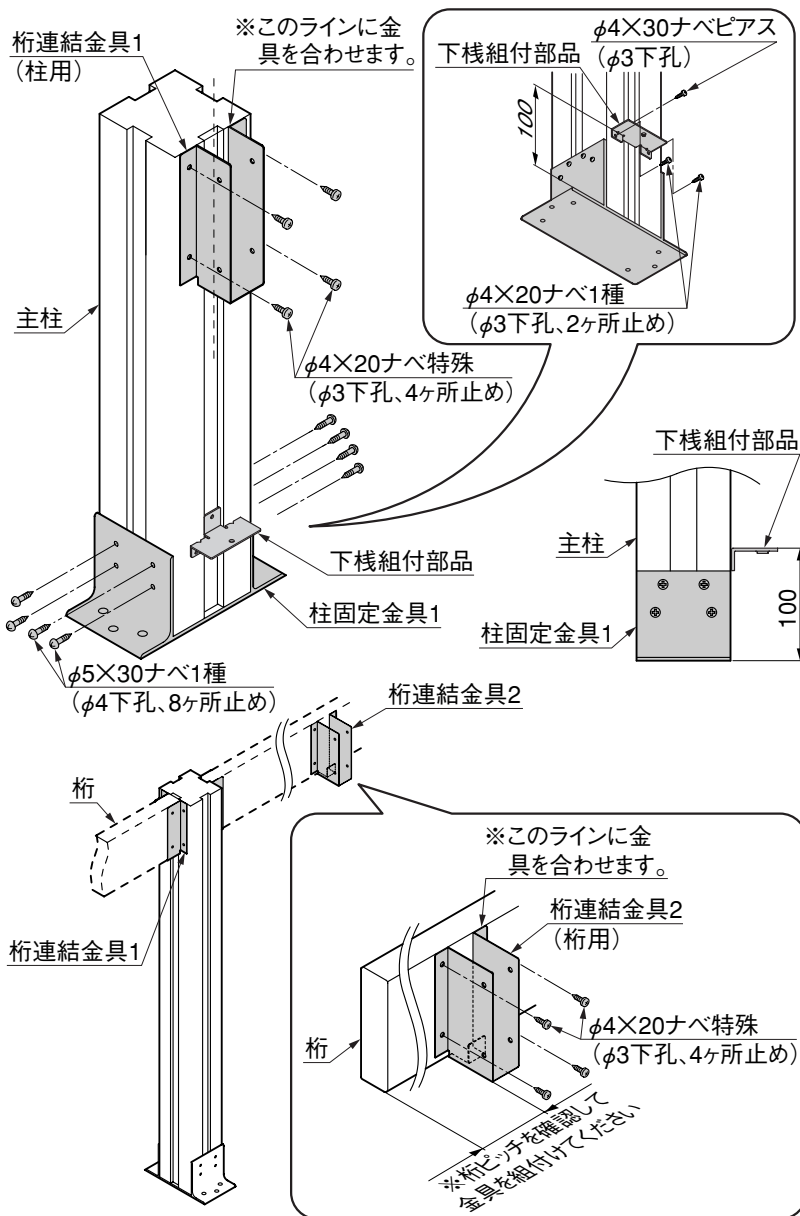
パネルサイズ	H寸法
T-6パネル	600
T-8パネル	800
T-10パネル	1000
T-12パネル	1200
T-14パネル	1400
T-18パネル	1800

<注 意>

- デッキ面から2300mmを越える施工はしないでください。(※1)
- G.L.からデッキ面までの最大寸法は500mmです。

3. 柱の組立て・桁連結金具の組付け

3-1 桁連結金具の組付け ※柱の中心に組付けます。



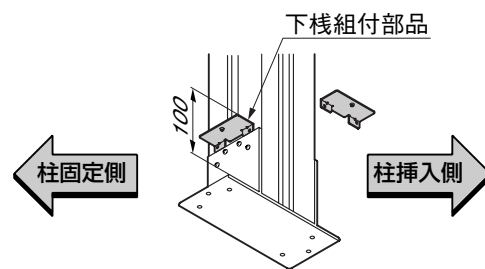
<注 意>

- 桁を組付ける前に桁連結金具を組付けます。

- ① 主柱に「柱固定金具1」を組付けてください。
- ② パネルの挿入方向を確認し、「下棧組付部品」を組付けてください。

<注 意>

- それぞれのネジは、図で指定した下孔をあけてから打込んでください。
- 下図のように柱固定側に「下棧組付部品」を合わせると位置がです。

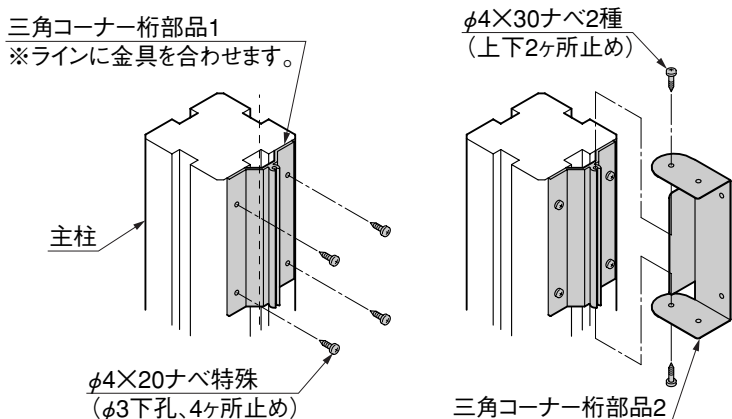


- ③ 桁の方向を確認し、「桁連結金具1,2」を組付けてください。

<注 意>

- 主柱の中心に「桁連結金具1」をつけてください。
- 桁のピッチを確認して「桁連結金具2」をつけてください。
- φ4ネジを打込む際は、必ずφ3の下孔をあけてください。

3-2 三角桁金具の組付け ※柱の中心に組付けます。

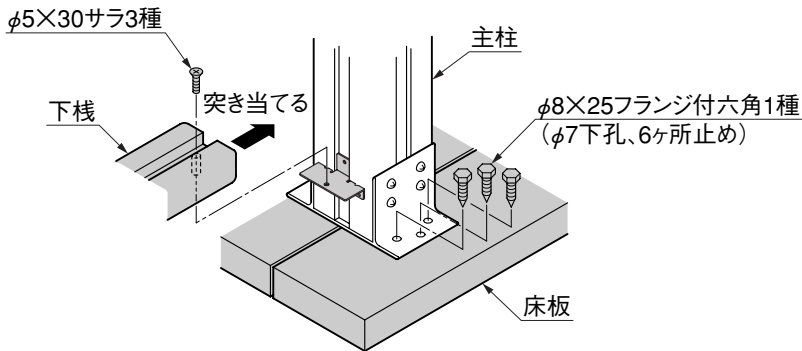


- ① 「三角コーナー桁部品1」を主柱に組付けてください。
- ② 「三角コーナー桁部品2」を、「三角コーナー桁部品1」に組付けてください。

<注 意>

- 三角桁金具の組付ける向きを確認してください。(「2.基本寸法図および各部名称」参照)
- 主柱の中心に「三角コーナー桁部品1」を組付けてください。
- 「三角コーナー桁部品2」は、後で角度を調整しますのでネジは完全に締めないでください。
- φ4ネジを打込む際は、必ずφ3の下孔をあけてください。

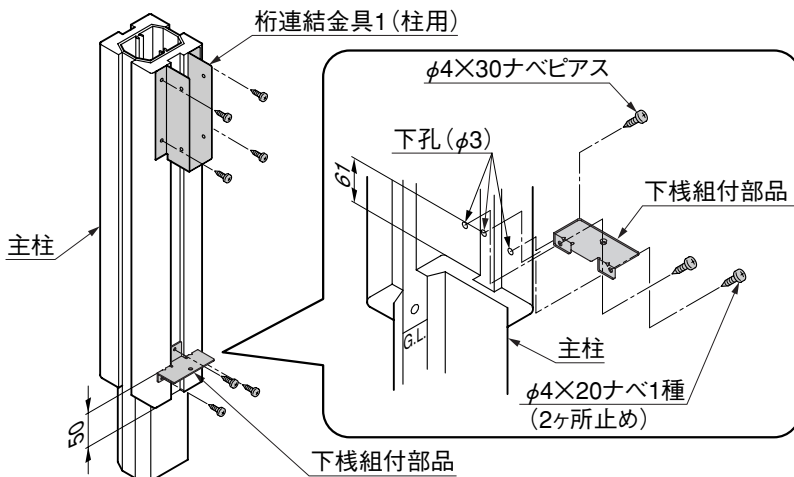
4. 下棧の組付けとベース柱の組付け



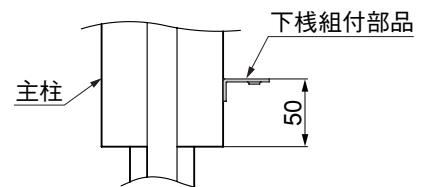
- ① 下棧を主柱に突き当てるように組付けてください。
<注意>
 - ネジを締め込みすぎて下棧を突き抜かないように注意してください。
- ② 下棧を組付けた後に、主柱を床板に固定してください。
<注意>
 - φ8ネジを打込む際は、必ずφ7の下孔をあけてください。

5. 主柱(埋込仕様)・コーナー柱の組付けと下棧の組付け

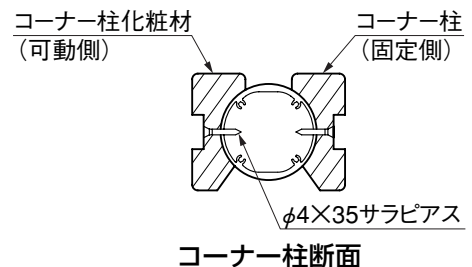
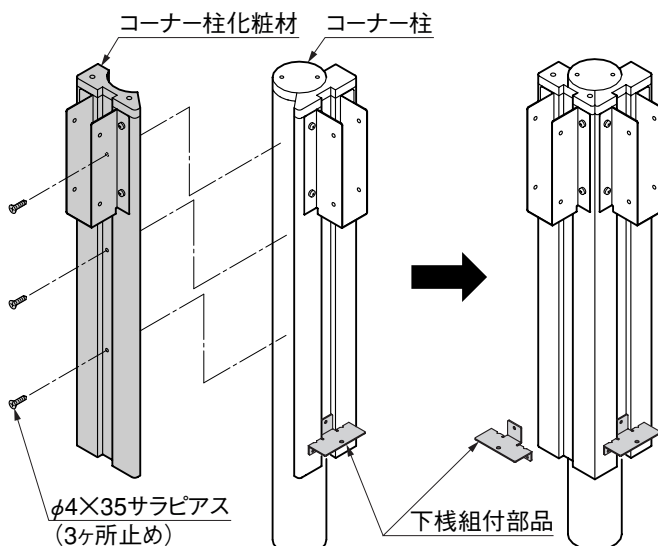
5-1 主柱(埋込仕様)の場合



- ① 「桁連結金具1」を組付けてください。
 (「3.桁連結金具の組付け」参照)
 - ② パネルの挿入方向を確認し、記載寸法の位置に下孔をあけてください。
 - ③ 「下棧組付部品」を組付けてください。
- <注意>**
- φ4ネジを打込む際は、必ずφ3の下孔をあけてください。

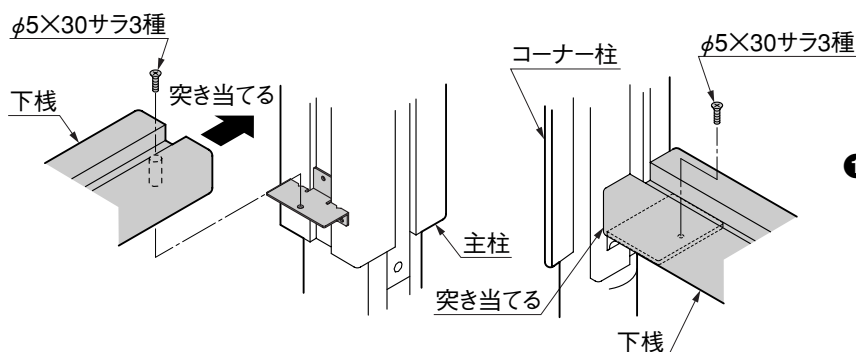


5-2 コーナー柱(埋込仕様)の場合



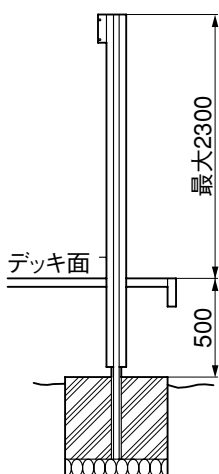
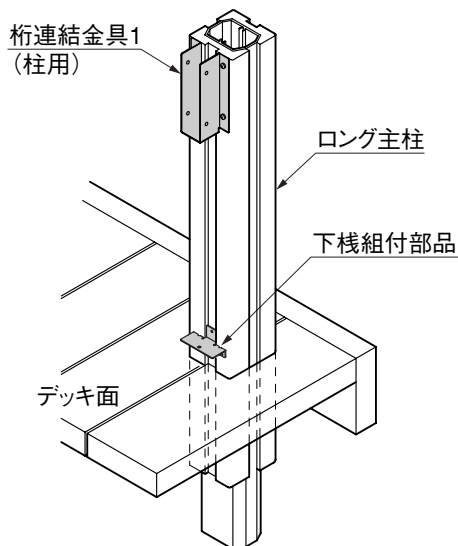
- ① 桁連結金具とコーナー柱化粧材をコーナー角に合わせて組付けた後、「下棧組付部品」を組付けてください。(「5-1 主柱(埋込仕様)の場合」参照)
- <注意>**
- コーナー柱を使用する場合、柱ピッチが異なるので注意してください。(「1.施工時の重要注意事項」参照)

6. 埋込み柱の下棧の組付け



- ① 下棧を主柱・コーナー柱に突き当てるように組付けてください

7. ロング柱の組付けと下棧の組付け



- ① 主柱の位置を決めて、デッキ面に柱孔加工を施してください。(図7-1参照)
- ② ロング柱に「桁連結金具1」を組付けてください。
- ③ 柱を入れ、デッキ面から100mmの位置に「下棧組付部品」がくる位置で柱を仮固定してください。(図7-2参照)
- ④ 下棧を柱に突き当てるようにして組付けてください。(図7-3参照)

<注意>

- 施工にあたっては基本図の寸法にしたがってください。

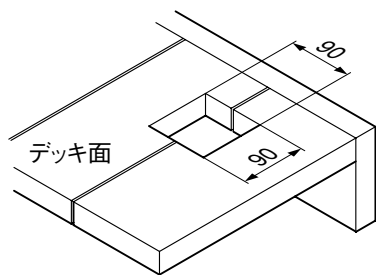


図7-1

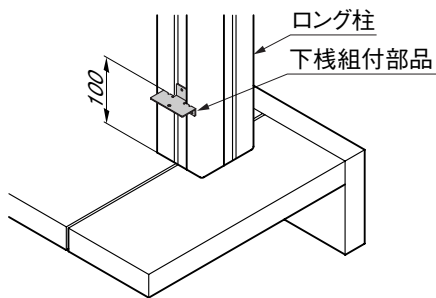


図7-2

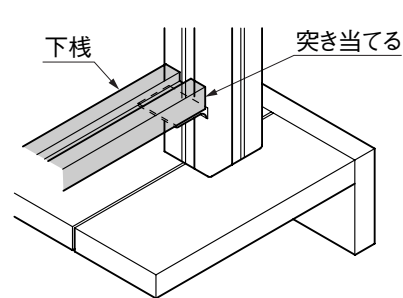


図7-3

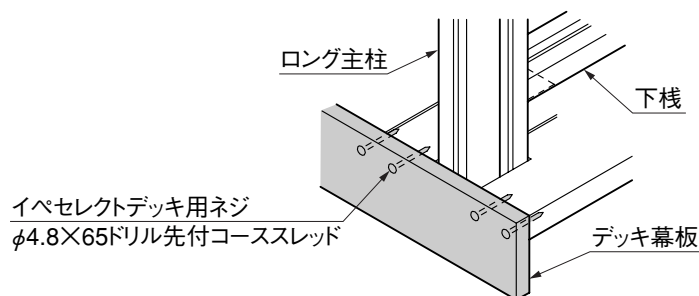


図7-4 柱をデッキの端に施工する場合

<注意>

- 柱をデッキの端に施工する場合は、幕板ではさむようにし、ネジを多めに打つなど幕板を補強してください。(図7-4参照)

8. パネルと上棧の組付け

① 上棧に組付部品を組付けてください。

<注 意>

- 組付部品は上棧断面の中心に組付けてください。

② 主柱と下棧の溝にパネルをはめ込んでください。

③ 上棧の溝をパネルに合わせて上棧を組付けてください。

<注 意>

- φ4ネジを打込む際は、必ずφ3の下孔をあけてください。
- 上棧の平行および高さを確認して組付けてください。(「2.基本寸法図および各部名称」参照)

9. 桁の組付け

※屋根小棧を組付ける場合は「屋根小棧」の施工手順にしたがってください。(別紙取付説明書参照)

9-1 桁の組付け

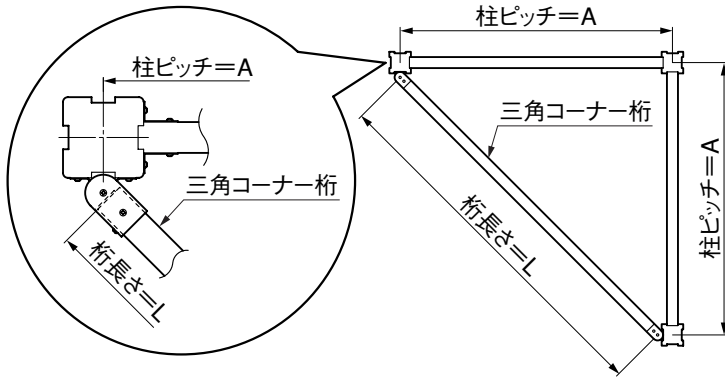
- ① 三角コーナー桁長を現場で計り、桁をカットしてください。(「9-2 三角コーナー桁長の計算方法」参照)
- ② 桁を金具に差込み、柱および金具に突き当てながら組付けてください。
- ③ 三角桁金具のネジを完全に締めてください。

<注 意>

- φ4ネジを打込む際は、必ずφ3の下孔をあけてください。

9. つづき

9-2 三角コーナー桁長の計算方法



<計算式>

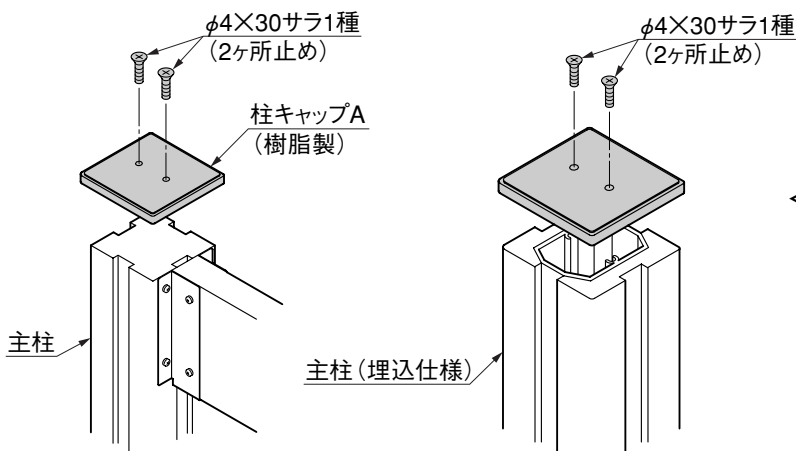
桁長さ L = (柱ピッチ A) × 1.41 - 107.42
 ・参考例：柱ピッチ A = 1200 の場合
 L = (1200 × 1.41) - 107.42 = 1585mm

<注意>

- 計算はあくまで目安です。現場で必ず長さを計ってください。

10. 柱キャップの組付け

※柱ギボシを組付ける場合は「柱ギボシ」の施工手順にしたがってください。(別紙取付説明書参照)



- 柱キャップを主柱に組付けてください。

<注意>

- 埋込仕様の柱にはタッピングホールの方にネジを合わせてください。
- キャップの向きにご注意ください。
- ベース仕様の柱には、φ4ネジを打込む位置にφ3の下孔をあけてください。

施主様・工事店様へ

- 木は自然材料ですので、屋外環境下において使用にさしつかえない範囲でのソリ、曲り、割れ等が発生する場合があります。
- 木材の腐食や変形の原因となりますので、木材表面に故意にキズをつけないように注意してください。
- 木材保護着色料を塗装してある木材製品は、ご使用と共に色が落ちてきますので、1年をごとに再塗装してください。
お手入れの状況(回数・丁寧さ等)で耐用年数に差が出てきます。
- 木材の再塗装には、ニスやペンキ等の塗膜をつくるタイプの塗料は絶対に使用しないでください。ひび割れの原因となります。
- モルタル・鉄粉は木材の変色の原因となりますので、付着した場合は速やかに取除いてください。
- ごみ・汚れ等を長期間放置しますと汚れが落ちにくくなりますので、こまめに清掃してください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。

- ご使用いただきましてありがとうございました。

取説コード

C269

VBM822291B

200101A

201108D_1007